

「北京からの報告」その1

北京日本人学校 石名勝実（いしな かつみ）



（写真は故宮）

県民のみなさん、はじめまして。今年の四月より北京日本人学校へ派遣されている石名と申します。岩美町の岩美西小学校より派遣されました。任期は3年の予定です。最後の年にはオリンピックもあり、変わりゆく北京から、教育に関するテーマを中心にして様々な話題をお伝えしたいと考えています。よろしくお願い致します。

まずは、第1回目ということで、私が赴任した北京という街について（人口・町並みの様子）と北京日本人学校について報告させていただきます。

・北京について（人口・街の様子編）

中華人民共和国の首都・北京は、とても大きな街です。広さにおいても日本の岩手県ほどの面積を持ち、人口も1,250万人にもものぼります。昔から中国の中心にあった街ですので歴史と文化が色濃く残っていることも特徴です。ちなみに世界遺産が北京市内だけで6カ所もあります。

このような街ですので、鳥取に比べれば大都会です。大きなビルが林立し、車の往来も激しいです。その一方で昔ながらの町並みが残っています。しかし、このような町並みが急速な変化を遂げようとしています。それは、2008年8月に開催される北京オリンピックに向けて都市化が進められているからです。街のあちこちで槌音が響いています。大きなビルが街のあちこちに建てられていますし、道路などの生活基盤が整備されています。みなさんも一度は耳にしたことがある「ニーハオトイレ」（壁のない、壁があってもドアがないトイレ）も姿を消しつつあります。また、昔ながらの住居（胡同：ふうとん）も町のあちこちから姿を消しつつあります。私からすると、ここまで急速に都市化を急ぐ必要はないのではないかと感じています。



（写真手前は壊される昔の住居）

人々の暮らしについても報告したいのですが、毎日学校と家との往復で、市民の生活を垣間見る機会が非常に少ないためにお伝えできないのが現状です。ただ、とても力強く生活しているなと感じています。そのパワーの源はどこなのかを今後探っていきたいですし、その具体例についてもみなさんにもお伝えしたいと思います。

・北京日本人学校について

①学校の概略

私の勤務している日本人学校は市内の東北部、市の中心にある故宮からは車で40分ほ

どの所に位置しています。今年で30周年になり、11月には記念式典が予定されています。昭和51年の開校当初の児童生徒数は17名でしたが、現在約650名になっています。今後益々の増加が見込まれています。

教育内容については、日本の指導要領に基づいていますので、日本の子どもたちと同等の教育を行っていますが、小学校と中学校が併設されていることや外国という特徴を生かした内容もあります。

現在、ここに文部科学省からの派遣教員29名、現地採用教員14名、事務スタッフ6名で指導にあたっています。

②特徴的な教育内容

(1) 小・中併設学校

これは、本校に限ったことではなく、ほとんどの日本人学校も同じなのですが、小学生と中学生が同じ校舎で学びます。遠足や運動会では、中学部生徒が先頭に立って下級生を引っ張ります。自然と縦のつながりが生まれるので教育的効果は大きいです。

(2) 外国語教育の充実

全学年が週に1回の中国語と英会話の授業があります。学年が進むにつれて能力に応じたコース別の学習を取り入れるなど力を入れています。小学部でも英検を受験する児童がたくさんいます。

(3) 地域性を生かした現地理解や国際理解教育

各学年が教育内容に即して現地理解に努めています。例えば、小学部1年生は北京動物園への遠足、2年生は現地の市場への見学などです。全校では、万里の長城へ全校遠足をしました。また、北京は、国際都市ということもあってドイツ、フランス、韓国などのインターナショナルスクールがあります。それらの学校との国際交流ドッジボール大会や弁論大会も開催されています。

③その他の特徴

(1) 安全対策

北京日本人学校が世界中に知れ渡った事件が、一昨年の北朝鮮脱北者の不法侵入です。本校の歴史を紐解いてみますと、平成9年までは校内防犯装置がありませんでしたから、不法侵入者に対する警備は要がなかったと思われます。しかし、現在は、前述の事件の教訓から、24時間の警備員により監視と、校舎は5メートルの鉄条網で覆われるようになりました。



(写真は校門前)

(2) 著名人の来校

国際都市ですので、著名人の来校が多いです。今までにも歴代の総理大臣など、著名人の来校がたくさんありました。(詳細は学校ホームページをご覧ください。) 去年は卓球の福原愛選手が来ていただきました。再来年のオリンピックを控えて、スポーツ選手の来校が多数予想されています。

次回は北京での生活の様子や、現地の教育事情についてお伝えしたいと思います。